

膝-半月板 (はんげつばん)

clindsc



【医学用語解説】

半月板は、膝関節の内・外側に1枚ずつあり、上方から見て内側は”C”の字型、外側は”O”の字型をしています。中央部に向かってスロープ状(すり鉢状)で、球状の大腿骨顆部を包み込んでいます。したがってその機能は1)クッション (shock absorber) 作用、と同時に膝関節の安定性に重要な役割を果たしています。

半月板損傷は、膝のツイスティングを多用するスポーツで多く発生し、血行が周辺部にしかないという理由から、傷が入ると治りにくいという特徴があります。特に中央部から体部にかけては(傷の入り方にもよりますが)、断裂が進展し(広がり)、ついには locking (“膝が挟まりこむ”)となることもあります。前十字靭帯損傷に合併しやすいことも、特徴の1つです。